



「地域の経済2003」 成長を創る産業集積の力 説明資料



本資料は、地域経済の課題について理解を深めることを目的に、
内閣府政策統括官「地域の経済2003」の一部を解説するためのものである。
資料中の章番号、図表番号は、「地域の経済2003」に対応している。

「地域の経済2003」については、内閣府ホームページ
<http://www5.cao.go.jp/keizai3/whitepaper.html>
において閲覧することができるので、詳しくはそちらを参照されたい。



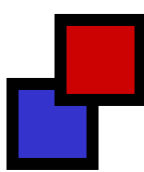
< 集積 > の経済効果について



■ メリット

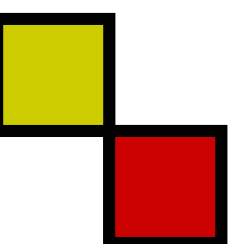
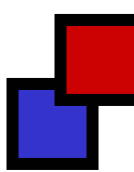
- 規模効果： 生産規模の拡大 生産の効率化
- 統合効果： 生産の集約 物流、情報などの効率化
- 累積効果： 人材、設備、ノウハウなど資源の蓄積
- 競争効果： 近接企業間の技術革新競争

■ デメリット

- 同質化： 長期固定的関係が革新の抑止力
 - 独占化： 競争が制限されて非効率に
 - ハイリスク化： 集中によって生産のボトルネックが発生
- 



成長を創る新しい集積 < クラスター >

- 
- 「新しい集積」としての「クラスター」
 - 「クラスター」とは「房」「群れ」
 - 企業などが競争しつつ同時に協力し、共通性や補完性により連結され、イノベーションが促進されているタイプの産業集積
 - 「知の集積」「知的集積」「高度集積」
 - 「集積」との違いはイノベーションの創造
 - ベンチャーの役割も重要
- 



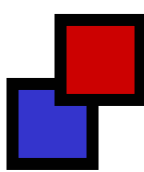
イノベーションとクラスター



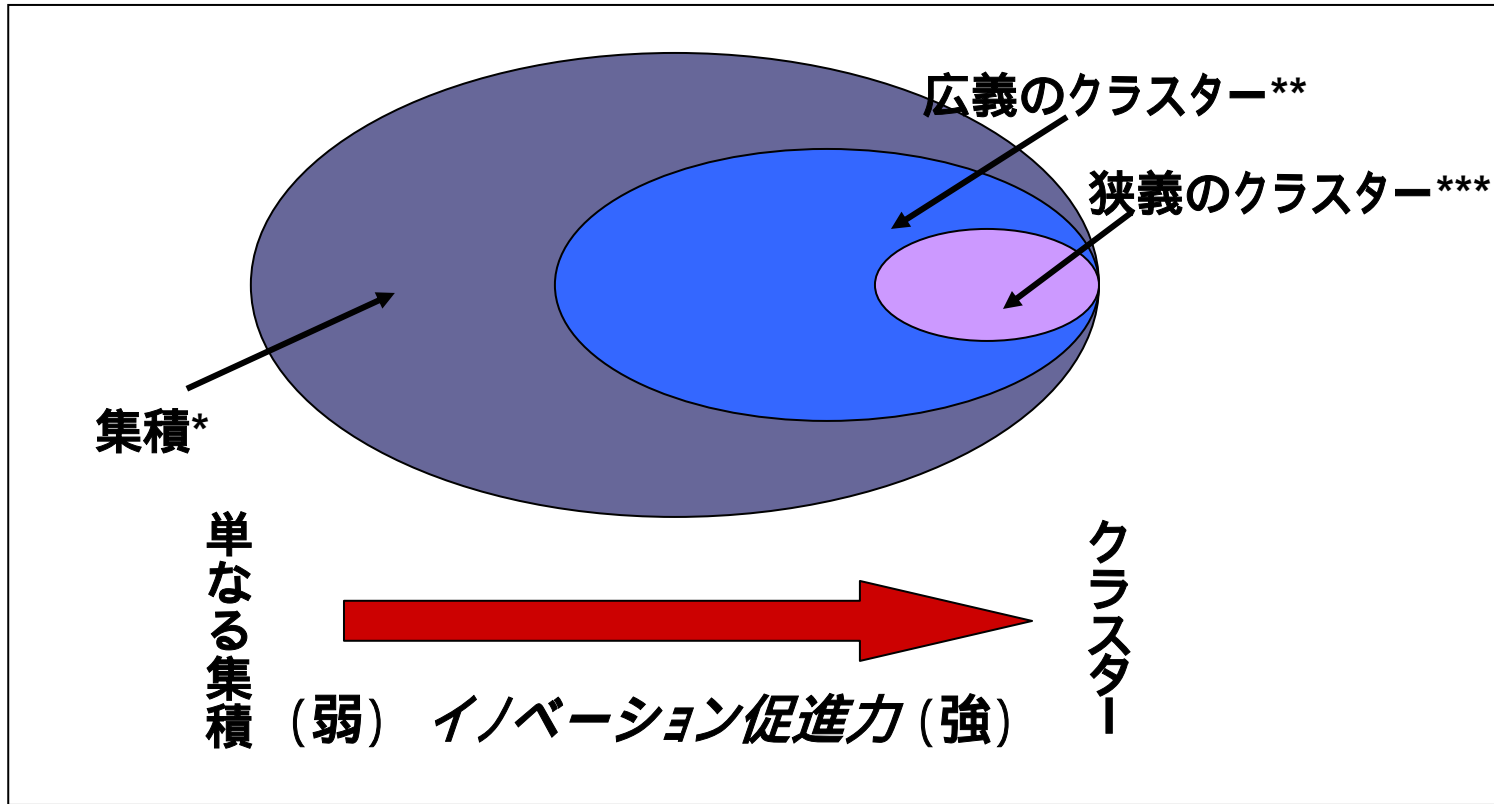
■ イノベーション(革新)

- 企業活動にかかわる様々なオペレーションについての革新(ハードからソフトまで)

■ クラスター(集積の一種)

- (集積)特定分野において相互に連結する企業群と関係機関群が地理的に集中している状態
 - (広義)企業群が競争しつつ同時に協力し、共通性や補完性により連結している状態
 - (狭義)イノベーションを促進し、産業構造を急速に変える働きの一助となる集積
- 

「集積」と「クラスター」の違い



*特定分野において相互に連結する企業群と関係機関群が地理的に集中している状態

**企業群が競争しつつ同時に協力し、共通性や補完性により連結している状態

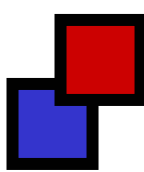
***イノベーションを促進し、産業構造を急速に変える働きの一助となる集積



広がるクラスター形成の運動



■ 先進各国の産業競争力向上に効果

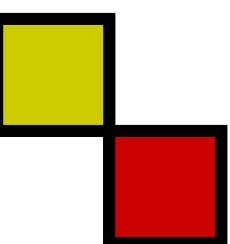
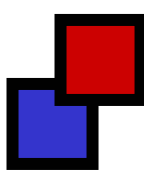
- 連携と競争によりイノベーションを促進し、付加価値を創出
 - シリコンバレー (IT、マイクロエレクトロニクス、バイオ)
 - サンディエゴ (創薬・バイオ、通信)
 - マンチェスター (化学、電機)
 - ドルトムント (IT、電子機器)
- 

■ クラスター推進の取組

- 「産業クラスター計画」(2001年～) 19プロジェクト
- 「知的クラスター創成事業」(2002年～2006年) 13クラスター
- 「構造改革特区」(2003年～)

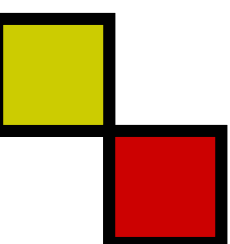
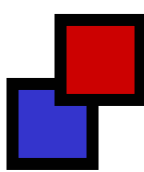


集積メリットを活用する国内の実例(1)

- 
- 北海道：「食」「住」「遊」のクラスターづくり
 - 岩手県北上市：長期的な取組による内陸型集積
 - 東京都杉並区：世界有数のアニメ集積
 - 岐阜県大垣市：大学・海外との連携によるIT集積
 - 新潟県三条市・燕市：伝統ある金属加工集積
 - 大阪府東大阪市：「きんぼし」企業を支援する自治体
 - 岡山県総社市：系列依存から製品開発型への転換
- 



集積メリットを活用する国内の実例(2)

- 
- 香川県：食文化が全国に認知された讃岐うどん
 - 大分県湯布院町：民間人主導の滞在型保養温泉地
 - 沖縄県：独特の食材を活用した健康食品産業集積
- 

地域集積の形態は多様

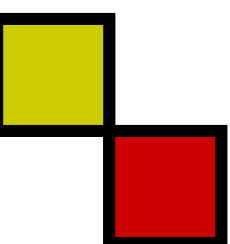
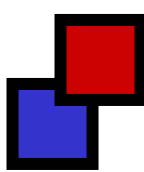
- 必勝パターンは？ 集積間の競争

集積そのものが地域の資源

- 集積の効果が現れるのには、時間が必要

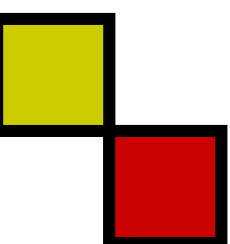
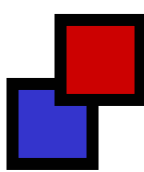


産業集積の4つの成功要素 (第1 - 1 - 5表)

- 
- **地域としての危機意識と実行力**
 - 地域による主体的な取組が重要
 - イノベーションにはイノベーターが必要
 - **地域資産を活用する産業の選択**
 - 自然環境、特産物、伝統、文化を活かす選択
 - **多様な連携を推進する機関**
 - クラスタには専門の連携機関が不可欠
 - **起業、中小企業を支援する仕組み**
 - インキュベーション・マネジャー(起業家育成マネジャー)など人材が重要
- 

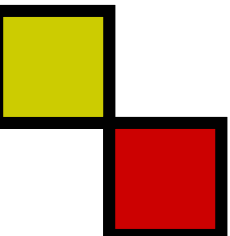
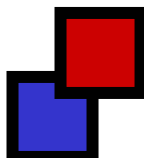


集積を活用する成長企業の事例

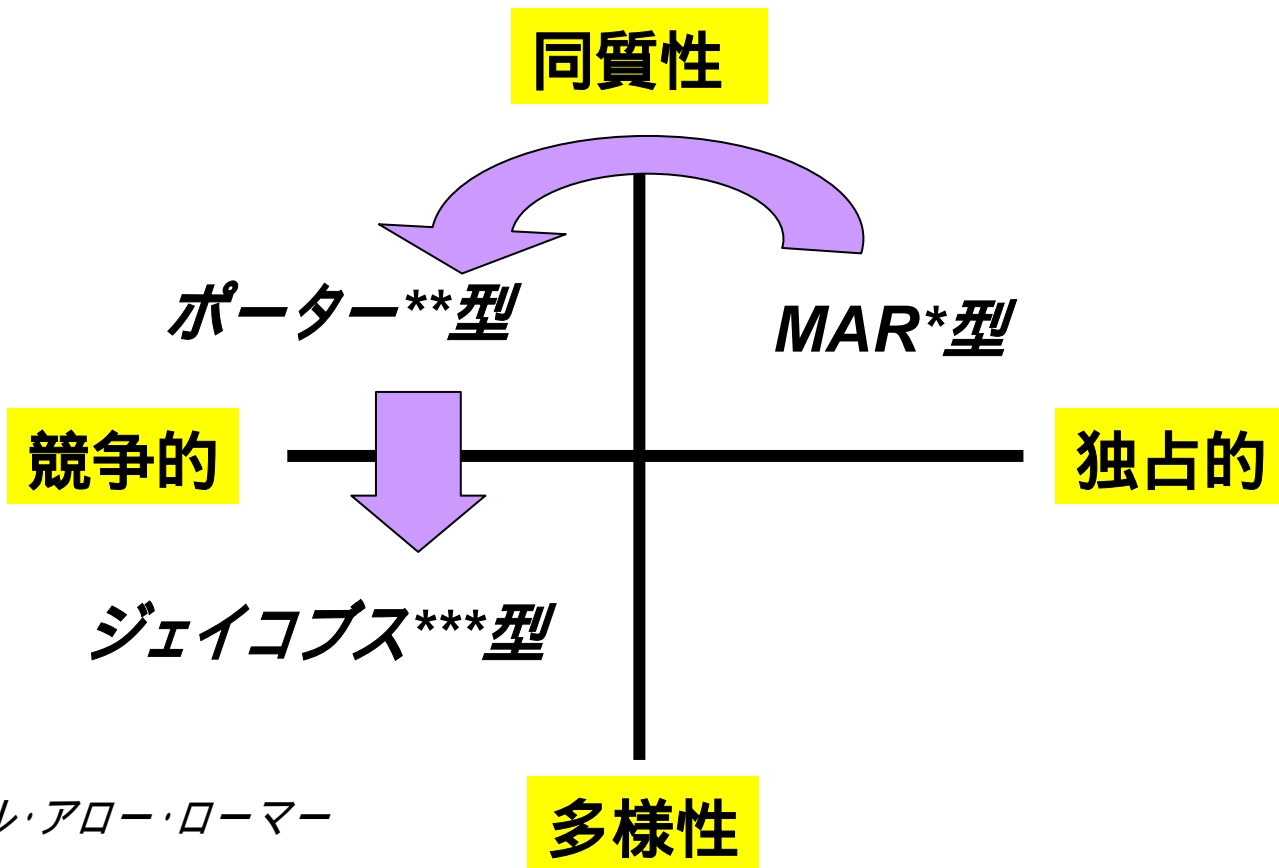
- 
- **ミクロの生産性の改善が重要**
 - 個々の企業の経営戦略、研究開発、組織構造の改善が重要
 - **成長企業による様々な連携の形態**
 - 集積を活用して成長している企業の事例を分析
 - 売上高は年22%増、従業者数も2年間で21%増(計) (第1-2-1図)
 - 周辺の企業と多種多様な連携を実施
 - 共同研究、共同受注、人材派遣、資材調達、在庫管理、技術補完、情報交換など
 - 成長企業の中には、連携を自ら推進している企業(コーディネート企業)も存在
- 



集積メリットと地域経済の成長

- 
- **特化型の集積の多くで平均以下の雇用増**
 - 人口規模が大きくなるほど産業の多様性が拡大(第1 - 3 - 1図)
 - 特化係数の高い地域の従業員の減少が大(第1 - 3 - 3表)
 - **製造業の成長と集積全体の成長に相関**
 - 人口規模の小さい都市圏においては、製造業の成長が都市圏全体の成長にとって重要(第1 - 3 - 7図)
 - **多様性と競争が集積の成長を促進**
 - 多様性が高く、競争の活発な産業集積において雇用が成長する傾向(第1 - 3 - 10表)
 - 集積の「負の効果」が発生している可能性
- 

クラスター理論の発展

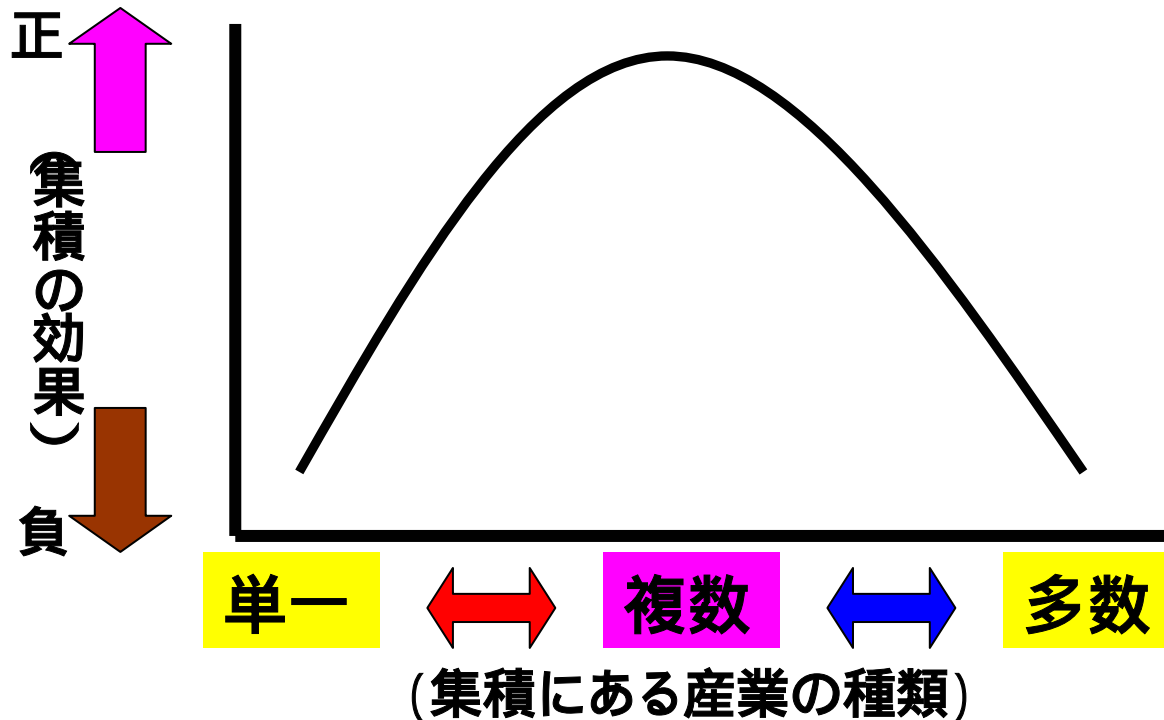


* マーシャル・アロー・ローマー

** Porter, Michael E.

*** Jacobs, J.

特化型から複合型へ(概念図)



- 多数 < 複数 地域の特性に応じた選択と集中
- 単一 < 複数 シナジー(相乗)効果による革新
- 単一 < 複数 リスクの分散



知識力、変革力、連携力



■ 「産業集積」 「クラスター」 の条件

■ < 知識力 >

- 知恵の場としての大学・研究所の高度化、活性化
- 地域の特性に関する分析の蓄積

■ < 変革力 >

- 多様性に寛容、競争とイノベーションが活発な環境
- 競争阻害要因を取り除く

■ < 連携力 >

- 連携を推進する専門的な仲介組織(コーディネーター)
- 



健康、観光、学校の可能性



■ 健康 (医療サービスを含む)

- 医療、介護、医薬品
- 食品、外食
- スポーツ

■ 観光 (農林水産業を含む)


- 地域の自然
- 地域の伝統・文化

■ 学校 (大学、研究所を含む)

- 特色ある研究
- 多様な人材と結節点



< 4つの環境変化 >

- 
- 高齡化
 - 環境適合
 - グローバル化
 - 高度情報化
- 